

創刊号

有明工業高等専門学校

〒836・大牟田市東萩尾町150

Tel 09445 ③ 1011

印刷・西田印刷所

有明高専だより

師弟の和熟を

校長 誉田 敏雄

本校における伝統紙ともいべき「有明高専だより」が、今後定期的に発行されることになった。誠に時宜に適した企てとして喜びに堪えない。

学問技術、体力の強化、人間形成は本校における教育方針の三本柱である。その実が學るか否かは教職員、学生が一体となってこれに努力するより他なく、そのためには師弟間の相互信頼がなければならない。その事については私は折に触れ夏目漱石の言葉を引用して来た。即ち「夫レ教育ハ建國ノ基盤ニシテ、我等モ脚々所感ヲ述べ音語トセキ」を今日の言葉を以てすれば、さしつめ「教師、学生間の相互信頼」と云うことになる。ただその信頼は特に深い信頼でなければならない。深い信頼と和熟の実を挙げるには、教育と学生とのコミュニケーションの緊密なことが必要である。この「学園だより」を発刊する第一の意義はここにある。

(昭和四十四年七月
二十日アボロ十
一号目着陸の日)

祝辭

本日 本校創業記念日ニ當り
我等モ脚々所感ヲ述べ音語トセキ
夫レ教育ハ建國ノ基盤ニシテ
師弟の和熟ハ首尾ノ大本ノ
リ師ノ弟子ヲ遇ふゝ路人ノ如
ノ弟子ノ師ヲ視ルノ奉承越ノ
如シシバ教育全ク危エテ國家
ノ元氣沮喪セム清子復シ
自テ斯校ニ逃フヌニ校
舍ナリ吾妻ナスメ放逐喧
猿ナリ吾然ラスソ放逐喧
模子ナリ吾心亂セバ我其
心ト與校トノ間白雲千里
ソ見ル亦已矣し天人一體
自他無別トタリ断クテ
ハ学校ノ隆盛ハ謂シカタヤ

学生が教師に傾倒せず、教師も生徒への信頼と愛情を持たないとすれば、教育は荒廃の一途をたどるばかりである。このことは昔も今も変りがない。教育が教師と学生の相戻係である以上、師弟の和熟は教育の根柢をなすものでなければならぬ。然しながら伝

これ等は教職員はもとより、在校



国大九重共同研修所にて 誉田校長

第五高等学校教員総代・夏目金之助
祝辞(明治30年10月・漱石当時30才)

学校行事(昭和44年度)									
3	2	2	12	11	10	9	8	7	6
6	19	12	20	23	21	20	19	18	8
13	12	3	9	11	4	22	25	21	19
25	18	18	9	3	1	22	25	20	19
13	18	29	3	1	1	20	25	20	19
終業式	卒業予会	冬季・都城高専球技大会	第3回試験	第2回試験	水泳大会	全国高専体育大会	夏休み(8・31まで)	第6回九州地区高専体育大会	開校記念日
卒業式	卒業予会	冬季・都城高専球技大会	第3回試験	第2回試験	水泳大会	全国高専体育大会	夏休み(8・31まで)	第6回九州地区高専体育大会	開校記念日
終業式	卒業予会	冬季・都城高専球技大会	第3回試験	第2回試験	水泳大会	全国高専体育大会	夏休み(8・31まで)	第6回九州地区高専体育大会	開校記念日
卒業式	卒業予会	冬季・都城高専球技大会	第3回試験	第2回試験	水泳大会	全国高専体育大会	夏休み(8・31まで)	第6回九州地区高専体育大会	開校記念日

